

# bizhub 4050

## ユーザーズガイド ファクス機能編



# もくじ

## 1 ファクス機能について

## 2 ファクスの準備（管理者向け）

2.1	準備の流れ .....	2-2
2.2	お使いになるために必要な作業 .....	2-3
	モジュラーケーブルの接続を確認する .....	2-3
	お使いの電話回線の種類を指定する .....	2-4
	構内回線（PBX）環境で使うための準備をする .....	2-4
	ファクスの受信方法を選ぶ .....	2-4
	発信元情報を登録する .....	2-4
	本機の日時を設定する .....	2-4
2.3	必要に応じて行う作業 .....	2-5
	よく送信するファクス番号を登録する .....	2-5
	ダイアルイン機能を設定する .....	2-5
	ナンバーディスプレイ機能を設定する .....	2-5
	宛先の指定に LDAP サーバーを使う .....	2-5

## 3 送信のしかた

3.1	送信する（基本的な操作の流れ） .....	3-2
3.2	送信先の状態を確認して送信する（手動送信） .....	3-4
	手動送信について .....	3-4
	手動送信する .....	3-4
3.3	プログラムを呼出して送信する .....	3-6
	プログラムについて .....	3-6
	プログラムを登録する .....	3-6
	プログラムを呼出して送信する .....	3-8
3.4	宛先の指定 .....	3-9
	よく使う宛先（常用）から選ぶ .....	3-9
	登録宛先から選ぶ .....	3-10
	直接入力する .....	3-11
	履歴から選ぶ .....	3-11
	ファクス番号を LDAP サーバーから検索する .....	3-12
3.5	ファクス送信のオプション設定 .....	3-13
3.5.1	基本的なオプション設定 .....	3-13
	読み込む原稿のサイズを設定する（[読みみサイズ]） .....	3-13
	原稿を読み込む解像度を設定する（[解像度]） .....	3-13
	原稿の両面を読み込む（[片面 / 両面]） .....	3-13
3.5.2	原稿の読み込み方法の設定 .....	3-14
	長い原稿を読み込む（[長尺原稿]） .....	3-14
	原稿のとじしろを指定する（[原稿のとじしろ]） .....	3-14
	大量の原稿を数回に分けて読み込む（[連続読み込み]） .....	3-14
3.5.3	画質／濃度の調整 .....	3-15
	原稿の内容に適した画質を選択（[原稿画質]） .....	3-15
	原稿を読み込む濃度を調整する（[濃度]） .....	3-15
	読み込む原稿の下地の濃度を調整する（[下地調整]） .....	3-15
	原稿の端部（ふち）にある文字や影を消去する（[枠消し]） .....	3-15
	文字などの境界をくっきりさせる（[シャープネス]） .....	3-15
3.5.4	現在の設定内容を確認する .....	3-15



## 4 こんな送信のしかたがあります

4.1	ファクスを再送信する .....	4-2
	自動で再送信する（オートリダイアル） .....	4-2
4.2	発信元情報を付加せずに送信する .....	4-3
	発信元情報について .....	4-3
	操作の流れ .....	4-3
4.3	時刻を指定して通信する（[タイマー通信]） .....	4-4
	タイマー通信について .....	4-4
	操作の流れ .....	4-4
4.4	送信先のファクス番号を確認して送信する（[宛先確認送信]） .....	4-5
	宛先確認送信について .....	4-5
	操作の流れ .....	4-5
4.5	親機のファクスを送信する（[Fコード送信]） .....	4-6
	親機通信について .....	4-6
	操作の流れ .....	4-6
4.6	中継機を指定して送信する（[Fコード送信]） .....	4-7
	中継配信について .....	4-7
	操作の流れ .....	4-7
4.7	ECM モードを解除して送信する（[ECM]） .....	4-8
	ECMについて .....	4-8
	操作の流れ .....	4-8
4.8	スーパー G3 モードを解除して送信する（[V34]） .....	4-9
	V34について .....	4-9
	操作の流れ .....	4-9
4.9	1ページずつ送信する（[クイックメモリー送信]） .....	4-10
	クイックメモリー送信について .....	4-10
	操作の流れ .....	4-10
4.10	パスワードをつけて送信する（[パスワード送信]） .....	4-11
	パスワード送信について .....	4-11
	操作の流れ .....	4-11
4.11	ポーリング用のファイルを登録する（[ポーリング送信]） .....	4-12
	ポーリング送信について .....	4-12
	ポーリング用のファイルを登録する .....	4-12
	ボックス内のファイルを印刷または削除する .....	4-13

## 5 受信のしかた

5.1	自動で受信する（ファクス専用で使う） .....	5-2
	自動受信について .....	5-2
	お使いになるために必要な作業（管理者向け） .....	5-2
5.2	自動で受信する（電話機を接続して使う） .....	5-3
	自動受信（TEL/FAX 自動切換）について .....	5-3
	お使いになるために必要な作業（管理者向け） .....	5-3
	電話をかける／受ける .....	5-3
5.3	自動で受信する（留守番電話を使う） .....	5-4
	留守番電話の使用について .....	5-4
	お使いになるために必要な作業（管理者向け） .....	5-4
5.4	手動で受信する .....	5-5
	手動受信について .....	5-5
	お使いになるために必要な作業（管理者向け） .....	5-5
	操作の流れ .....	5-5

## 6 こんな受信のしかたがあります

6.1	受信した日時を追加して印刷する（[受信情報]） .....	6-2
	受信情報について .....	6-2
	お使いになるために必要な作業（管理者向け） .....	6-2
6.2	印刷できないファクスを保存／転送する（メモリー代行受信） .....	6-3
	メモリー代行受信について .....	6-3
	メモリー代行受信したファクスを転送する .....	6-3



---

6.3	受信したファクスを自動で振分ける (TSI 受信振分け) .....	6-4
	TSI 受信振分けについて .....	6-4
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け) .....	6-4
6.4	受信したファクスを他の宛先へ転送する (転送ファクス) .....	6-5
	転送ファクスについて .....	6-5
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け) .....	6-5
6.5	受信したファクスを印刷せずにメモリーに保存する (強制メモリー受信) .....	6-6
	強制メモリー受信について .....	6-6
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け) .....	6-6
	受信したファクスを印刷／削除する .....	6-6
	受信したファクスをダウンロードする .....	6-7
6.6	親展のファクスを受信する (親展受信) .....	6-8
	親展通信について .....	6-8
	お使いになるために必要な作業 .....	6-8
	受信したファクスを印刷する .....	6-8
6.7	電話機から受信を指示する (リモート受信) .....	6-10
	リモート受信について .....	6-10
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け) .....	6-10
	操作の流れ .....	6-10
6.8	パスワードで通信相手を制限する (閉域受信) .....	6-11
	閉域受信について .....	6-11
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け) .....	6-11
6.9	ボーリング用のファイルを受信する (ボーリング受信) .....	6-12
	ボーリング受信について .....	6-12
	操作の流れ .....	6-12
6.10	掲示板に登録されたファイルを受信する (ボーリング受信) .....	6-13
	ボーリング受信 (掲示板) について .....	6-13
	操作の流れ .....	6-13
6.11	受信したファクスをメモリーに保存する (PC-FAX 受信) .....	6-14
	PC-FAX 受信について .....	6-14
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け) .....	6-14
	受信したファクスを印刷する .....	6-14
	受信したファクスをダウンロードする .....	6-15
6.12	夜間のファクスの印刷を停止する (夜間受信) .....	6-16
	夜間受信について .....	6-16
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け) .....	6-16
6.13	ファクスを両面印刷する ([受信原稿両面印刷]) .....	6-17
	受信原稿両面印刷について .....	6-17
	お使いになるために必要な作業 (管理者向け) .....	6-17
6.14	ファクスの印刷設定をする (管理者向け) .....	6-18
	印刷の初期設定について .....	6-18
	印刷する用紙サイズを固定する ([記録用紙サイズ]) .....	6-18
	印刷する用紙トレイを固定する ([給紙トレイ固定]) .....	6-18
	不定形サイズ (縦長) のファクスを分割して印刷する ([ページ分割記録]) .....	6-18

## 7 ファクスレポートの印刷

## 8 よく使う宛先を登録する (短縮宛先)

8.1	短縮宛先について .....	8-2
8.2	ファクス宛先を登録する .....	8-3
8.2.1	設定メニューから登録する .....	8-3
8.2.2	ファクスマードのトップ画面から登録する .....	8-4
8.3	直接入力した宛先を短縮宛先として登録する .....	8-5

## 9 索引

---

# 1

## ファクス機能について

# 1 ファクス機能について

ファクスは、電話回線を使って、読み込んだ原稿（紙の原稿）の送信や送られてきたデータの受信を行う通信機能です。本機には、ファクスに関するさまざまな機能が備わっており、原稿に合わせて読み込みの設定を変更したり、受信したファクスをメモリーに保存したりすることができます。

ファクス使用時の注意は以下のとおりです。

- ファクス機能を利用するには、オプションの FAX キット FK-512、取付けキット MK-P03 が必要です。
- 本機を接続できる電話回線は以下のとおりです。
  - 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
  - PBX（構内交換機 2 線式）
- カラーでのファクス通信はできません。
- 外部電話としてビジネスホンは接続できません。
- キヤッヂホンは併用できません。
- お客様がお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、スーパー G3 による通信ができなくなる可能性があります。
- ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域を限界まで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様のネットワーク管理者にお問い合わせください。

---

# 2

## ファクスの準備（管理者向け）

## 2 ファクスの準備（管理者向け）

### 2.1 準備の流れ

#### 本機を電話回線に接続する

- モジュラーケーブルの接続を確認する
- お使いの電話回線の種類を指定する
  - ダイアル方式が誤っていると通信できないため、正しく指定する必要があります。
- 構内回線（PBX）環境への接続設定をする
  - 構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号を登録します。



#### ファクスの送受信環境を準備する

- ファクスの受信方法を選ぶ
  - お使いの環境に応じて、自動受信または手動受信を選びます。
- 発信元情報を登録する
  - 送信するファクスに印字する本機の名前や会社名（発信元名）と、本機のファクス番号を登録します。
- 本機の日時を設定する
  - 送受信するファクスに日時を印字するため、本機の日時を設定します。



#### お使いの環境に合わせて設定する

- よく送信するファクス番号を登録する
  - 送信のたびに宛先入力する手間を省けます。
- ダイアルイン機能を設定する
  - ダイアルインサービスをご利用の場合に、ダイアルイン機能の設定をします。
- ナンバーディスプレイ機能を設定する
  - ナンバーディスプレイサービスをご利用の場合に、ナンバーディスプレイ機能の設定をします。
- 宛先の指定に LDAP サーバーを使う
  - LDAP サーバーや Active Directory をお使いの場合に、サーバーで宛先検索ができます。



準備完了

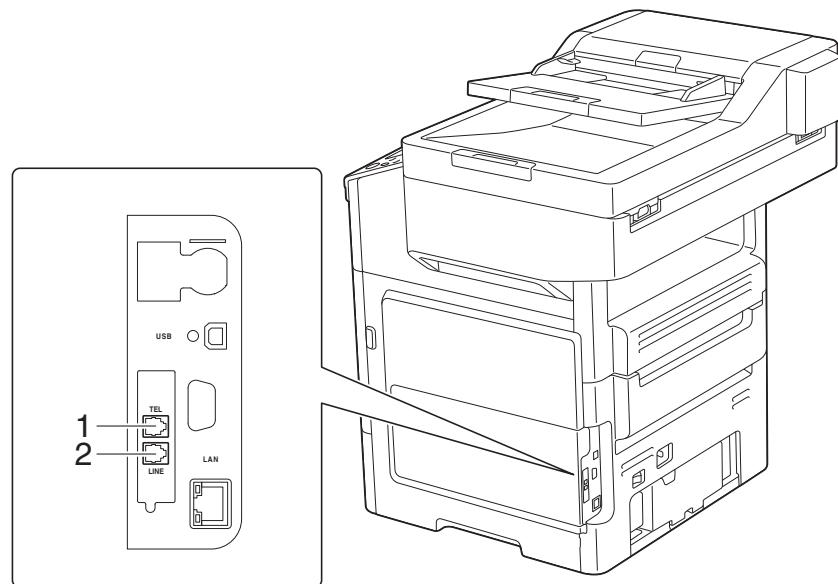
## 2.2 お使いになるために必要な作業



ファックス環境の設定のしかたについて詳しくは、[すぐに使える簡単設定ガイド] の4章「本機の初期設定」をごらんください。

### モジュラーケーブルの接続を確認する

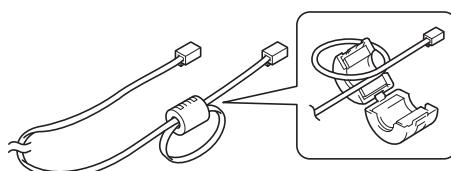
本機のLINEポートに、電話回線に接続されたモジュラーケーブルが接続されていることを確認します。TELポートは、外付け電話機のコードを接続するときに使用します。



No.	名称
1	外付け電話機接続用コネクター（TEL）
2	回線コネクター（LINE）

#### 電話回線ケーブルについて

- 本機の回線コネクター（LINE）には、フェライトコア付き電話回線ケーブルを接続してください。（フェライトコア側のモジュラージャックをLINEポートに接続してください。）また、外付け電話機接続用コネクター（TEL）には、フェライトコア付き電話回線ケーブルを接続してください。（フェライトコア側のモジュラージャックをTELポートに接続してください。）
- フェライトコアを取り付けない状態で使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあります。
- フェライトコアの取り付けは、以下の指示に従って行ってください。
  - ケーブルはフェライトコアに1周巻きしてください。
  - フェライトコアはケーブルをかみ込まないように取り付けてください。
  - フェライトコアはコネクタから20±5 mmの位置に取り付けてください。



## お使いの電話回線の種類を指定する

本機を接続する電話回線の種類（ダイアル方式）を指定します。ダイアル方式が誤っていると通信できなくなつたため、正しく設定する必要があります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [回線パラメーター設定] - [ダイアル方式]

## 構内回線（PBX）環境で使うための準備をする

構内回線（PBX）環境でお使いの場合は、外線番号を登録します。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [PBX 接続設定]

## ファックスの受信方法を選ぶ

ファックスの受信方法には、本機が自動で受信する方法や、ユーザーが手動で受信する方法などがあります。お使いの環境に合わせて、受信方法を設定します。

- 回線をファックス専用でお使いの場合は、自動で受信するように設定しておくと便利です。詳しくは、5-2 ページをごらんください。
- 本機に電話機を接続し、回線をファックスと電話両方でお使いになる場合は、電話の使い方に応じて、以下の機能のご使用をおすすめします。
  - ファックスは本機が自動で受信し、電話はユーザーが応対する場合は、TEL/FAX 自動切換機能を設定しておくと便利です。詳しくは、5-3 ページをごらんください。
  - 電話機の留守番電話機能を常にお使いになる場合は、本機の留守番電話接続設定機能を設定しておくと便利です。詳しくは、5-4 ページをごらんください。
  - 電話の応対にお使いになることが多く、かつファックスも常に手動で受信したい場合は、手動受信の設定をしておくと便利です。電話機から受信の指示をすることもできます。詳しくは、5-5 ページをごらんください。

## 発信元情報を登録する

本機の名前や会社名（発信元名）と、本機のファックス番号を登録します。

登録した情報は、送信するファックスに付加され、送信先で印刷されたファックスに発信元記録として印字されます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [発信元 / ファックス ID 登録]

## 本機の日時を設定する

送受信するファックスに日時を付加するため、本機の日時を設定します。設定した日時は、時刻を指定して通信するタイマー通信の基準時刻になります。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [日付 / 時刻設定]



時刻の設定に NTP (Network Time Protocol) サーバーをお使いの場合は、本機の日時を自動的に調整できます。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

## 2.3 必要に応じて行う作業

### よく送信するファクス番号を登録する

よく送信するファクス番号は、あらかじめ本機に宛先として登録することで、送信のたびに入力する手間が省けます。

登録のしかたについて詳しくは、8-3 ページをごらんください。

### ダイアルイン機能を設定する

ダイアルインサービスをご利用の場合に、ダイアルイン機能の設定をします。

ダイアルイン機能は、ファクス用の番号と電話用の番号のように 1 本の電話回線で複数の番号を利用できる機能です。ダイアルイン機能を使うには、NTT とダイアルインサービス（モデムダイアルイン）の契約が必要です。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [ダイアルイン設定]

### ナンバーディスプレイ機能を設定する

ナンバーディスプレイサービスをご利用の場合に、ナンバーディスプレイ機能の設定をします。

ナンバーディスプレイ機能は、電話をかけてきた相手の番号をパネルに表示する機能です。ナンバーディスプレイ機能を使うには、NTT とナンバーディスプレイサービスの契約が必要です。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定] - [ナンバーディスプレイ機能]

### 宛先の指定に LDAP サーバーを使う

ユーザー管理に LDAP サーバーや Active Directory をお使いの場合は、サーバーを使ってファクス番号の検索や指定ができます。宛先の指定にサーバーを使う場合は、お使いのサーバーを本機に登録します。

登録のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。



LDAP サーバーを使った検索のしかたについて詳しくは、3-12 ページをごらんください。

---

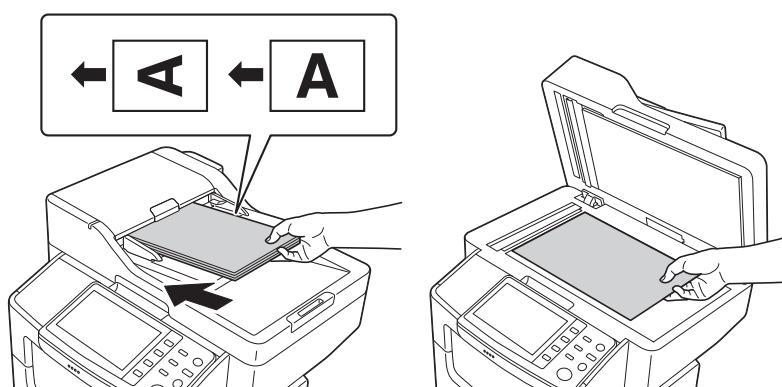
# 3

## 送信のしかた

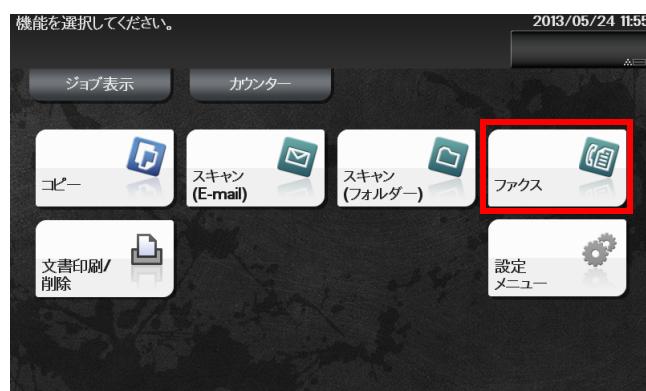
## 3 送信のしかた

### 3.1 送信する（基本的な操作の流れ）

- 1 原稿をセットします。



- 2 [ファックス] をタップします。

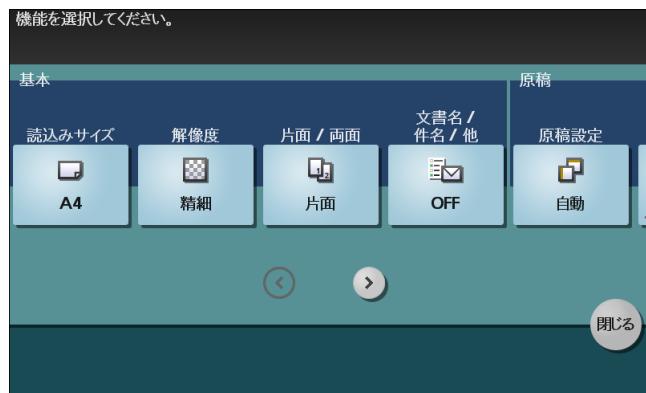


- 3 ファックス番号を指定します。

- 宛先の指定のしかたについて詳しくは、3-9ページをごらんください。
- 複数の宛先を指定することで、ファックスの同報送信ができます。



#### 4 [応用設定] をタップし、ファクス送信のオプション設定をします。



- 本機で原稿を読み込む前に、読み込む原稿のサイズを設定する必要があります。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定については、3-13 ページをごらんください。
- オプション設定について詳しくは、以下の各項目をごらんください。

目的	参照先
原稿サイズや解像度などの基本的なオプション設定をしたい	3-13 ページ
原稿の読み込み方法を設定したい	3-14 ページ
原稿の内容に応じて画質や濃度を調整したい	3-15 ページ

#### 5 スタートを押します。

- 必要に応じて、送信前に「設定確認」をタップし、指定した宛先や設定内容を確認します。
- 宛先の指定や、オプション設定をやり直したいときは、リセットを押します。
- 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止します。原稿の読み込みを中止したいときは、ジョブ画面から停止中のジョブを削除します。



送信が開始されます。



送信するファクスには、発信元情報が自動的に付加されます。



#### 関連設定

- お使いの環境に合わせて、ファクス送信のオプション設定の初期値を変更できます。  
設定するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [ファクス / スキャン設定] - [ファクス初期設定]
- 必要に応じて、ファクス送信画面の初期表示を変更できます。  
設定するには：[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [画面カスタマイズ設定] - [ファクス / スキャン設定] - [ファクス基本画面表示]（初期値：[常用]）

## 3.2 送信先の状態を確認して送信する（手動送信）

### 手動送信について

手動送信は、送信先と通話したり信号音を確認したりすることで、ファクスを受信できる状態であることを確認してから送信する方法です。

送信先が受信できる状態のときに、確実に送信できます。



#### 参考

送信時の宛先 2 度入力機能を設定している場合、手動送信はできません。

### 手動送信する

- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファクス] をタップします。
- 3 [応用設定] をタップし、ファクス送信のオプション設定をします。
  - 本機で原稿を読み込む前に、読み込む原稿のサイズを設定する必要があります。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定については、3-13 ページをごらんください。
  - オプション設定について詳しくは、以下の各項目をごらんください。

目的	参照先
原稿サイズや解像度などの基本的なオプション設定をしたい	3-13 ページ
原稿の読み込み方法を設定したい	3-14 ページ
原稿の内容に応じて画質や濃度を調整したい	3-15 ページ

- 4 [オフック] をタップします。
  - 電話機をお使いの場合は、受話器を上げます。



5 [送信] が選ばれていることを確認し、ファックス番号を指定します。

- ファックス番号は、直接入力するかまたは登録した宛先から指定できます。宛先の指定のしかたについて詳しくは、3-9 ページをごらんください。
- 宛先の指定や、オプション設定をやり直したいときは、リセットを押します。



6 信号音が聞こえたら、[開始] をタップするかまたはスタートを押します。

送信が開始されます。電話機をお使いの場合は、受話器を戻します。

- 原稿の読み込み中にストップを押すと、読み込みを停止します。原稿の読み込みを中止したいときは、ジョブ画面から停止中のジョブを削除します。

### 3.3 プログラムを呼出して送信する

#### プログラムについて

プログラムは、よく使うオプション設定の組合せと宛先情報を、1つの呼出しキーとして登録する機能です。

プログラムを登録すると、トップ画面からワンタッチでオプション設定の組合せと宛先情報を呼出せます。

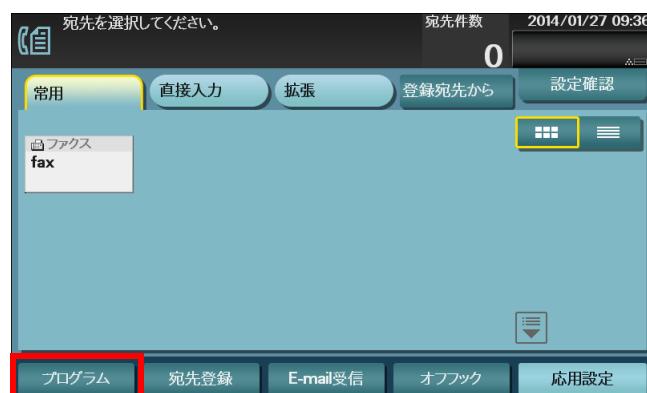
#### プログラムを登録する

プログラムは400件まで登録できます。

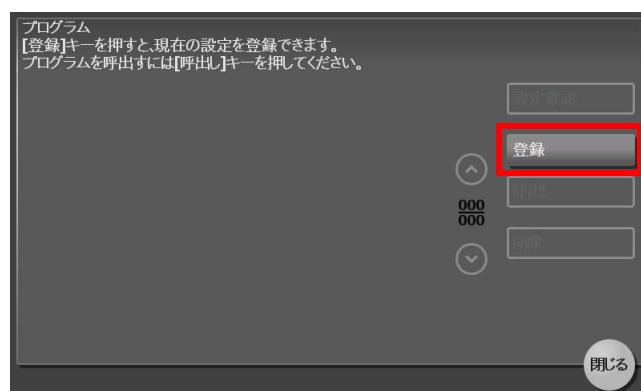
すでにプログラムが400件登録されている場合は、不要なプログラムを削除してから登録します。

- ✓ プログラムを登録するには、あらかじめ短縮宛先の登録が必要です。宛先の登録のしかたについて詳しくは、8-3ページをごらんください。

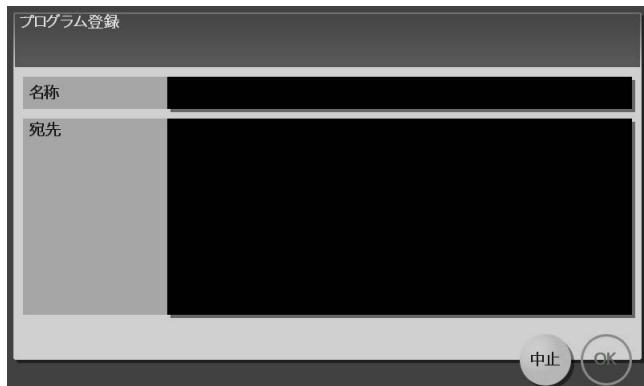
- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 [応用設定] をタップし、ファクス送信のオプション設定をします。  
→ ここで設定した状態を、プログラムとして登録します。
- 3 [プログラム] をタップします。



- 4 [登録] をタップします。



5 プログラムの名前と宛先を指定し、[OK] をタップします。



設定	説明
[名称]	プログラムの名前を入力します（72バイト以内）。
[宛先]	本機に登録されている短縮宛先またはグループ宛先から選びます。宛先は1件まで指定できます。

#### 参照

プログラムは Web Connection でも登録できます。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の2章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

#### 関連設定（管理者向け）

登録したプログラムのショートカットキーをトップメニューに配置できます。  
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [標準トップメニュー設定]

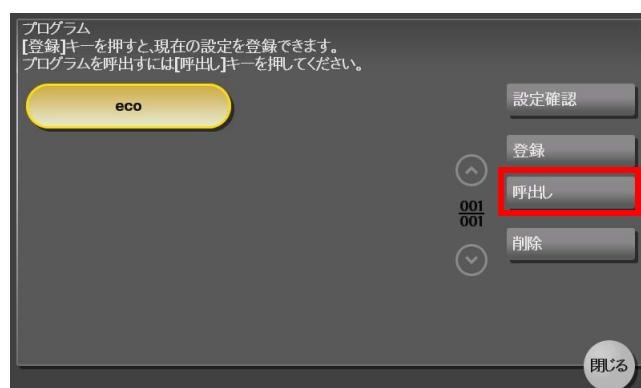
## プログラムを呼出して送信する

- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファクス] をタップします。
- 3 [プログラム] をタップします。



- 4 呼出したいプログラムを選んでから、[呼出し] をタップします。

プログラムの登録内容が反映されます。



- [設定確認] をタップすると、選択したプログラムの登録内容を確認できます。
- [削除] をタップすると、選択したプログラムを削除できます。

- 5 スタートを押します。

- 必要に応じて、送信前に [設定確認] をタップし、指定した宛先や設定内容を確認します。
  - 宛先の指定や、オプション設定をやり直したいときは、リセットを押します。
- 送信が開始されます。

## 3.4 宛先の指定

### よく使う宛先（常用）から選ぶ

本機に登録されている宛先を選びます。[常用] には、宛先登録時に、よく使う宛先（常用）に設定した宛先が表示されます。複数の宛先を選ぶと、同報送信できます。



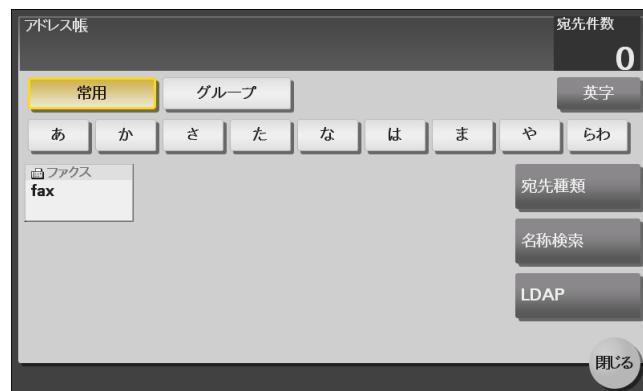
項目	説明
	宛先の表示を、ボタン表示またはリスト表示に切換えます。
	宛先の表示エリアを拡大／縮小します。 宛先キーの件数が多く、1画面に収まらない場合に表示されます。
スクロールキー	宛先の表示エリアをスクロールします。 宛先キーの件数が多く、1画面に収まらない場合に表示されます。



ファックス宛先の登録のしかたについて詳しくは、8-3 ページをごらんください。

## 登録宛先から選ぶ

[登録宛先から] をタップすると、アドレス帳を表示します。アドレス帳から、本機に登録されている宛先を選びます。複数の宛先を選ぶと、同報送信できます。



登録した宛先に設定した検索文字や宛先種類を指定して、アドレス帳に表示する宛先を絞込みます。

項目	説明
[常用]	宛先登録時に、よく使う宛先（常用）に設定した宛先を表示します。
[グループ]	グループ宛先を表示します。
[宛先種類]	登録した宛先の種類で、宛先を絞込みます。
[名称検索]	宛先の登録名で検索します。
[LDAP]	LDAP サーバーや Windows Server の Active Directory をお使いの場合は、サーバーからファクス番号を検索して選べます。詳しくは、3-12 ページをごらんください。



宛先の登録のしかたについて詳しくは、8-3 ページをごらんください。

グループ宛先は、Web Connection でのみ登録できます。登録のしかたについて詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

## 直接入力する

[直接入力] で、[ファクス] をタップしてから、ファクス番号を入力します。

複数の宛先を指定するときは、[次宛先] をタップすると、100 件まで宛先を追加できます。



### 参考

直接入力した宛先は、短縮宛先として登録できます。詳しくは、8-5 ページをごらんください。



### 関連設定（管理者向け）

- ファクス番号を直接入力するとき、ファクス番号を 2 度入力させるかどうかを選べます。ファクスの誤送信を防ぐために便利な機能です。  
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定] - [宛先 2 度入力機能 (送信)] (初期値：[OFF])
- ユーザーに対して、宛先の直接入力を許可するかどうかを選べます。  
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [セキュリティ詳細] - [手動宛先入力] (初期値：[許可])

## 履歴から選ぶ

[拡張] - [履歴から選択] で、送信履歴から宛先を選びます。

履歴は、最新の 5 件を表示します。履歴から複数の宛先を選ぶこともできます。



### 参考

登録宛先の編集や主電源の OFF/ON を行った場合、履歴の情報は削除されます。

## ファクス番号を LDAP サーバーから検索する

LDAP サーバーや Windows Server の Active Directory をお使いの場合は、サーバーからファクス番号を検索して選べます。

- ✓ あらかじめ本機にサーバーの登録が必要です。登録のしかたについては、**Web Connection** を使って説明します。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

- 1 [登録宛先から] - [LDAP] で、[LDAP 検索] または [LDAP 複合検索] をタップします。
- 2 キーワードを入力し、[検索実行] をタップします。
  - [LDAP 検索] では、1 つのキーワードで検索します。
  - [LDAP 複合検索] では、カテゴリー別のキーワードを組合させて検索します。
- 3 検索結果から、宛先を選びます。
  - [登録] をタップすると、検索した宛先を短縮宛先に追加できます。
  - [詳細] をタップすると、検索した宛先の詳細情報を確認できます。

## 3.5 ファクス送信のオプション設定

### 3.5.1 基本的なオプション設定

#### 読み込む原稿のサイズを設定する（[読みサイズ]）

表示するには：[応用設定] - [基本] - [読みサイズ]

読み込む原稿のサイズを選びます。

#### 原稿を読み込む解像度を設定する（[解像度]）

表示するには：[応用設定] - [基本] - [解像度]

原稿を読み込むときの解像度を選びます。

#### 原稿の両面を読み込む（[片面 / 両面]）

表示するには：[応用設定] - [基本] - [片面 / 両面]

原稿を読み込む面を選びます。

設定	説明
[片面]	原稿の片面を読み込みます。
[両面]	原稿の両面を読み込みます。

### 3.5.2 原稿の読み込み方法の設定

#### 長い原稿を読み込む（[長尺原稿]）

表示するには：[応用設定] - [原稿] - [原稿設定] - [長尺原稿]

定形サイズ（リーガル）よりも通紙方向が長い原稿をセットするときに選びます。1000 mmまでの長さの原稿を送信できます。

#### 原稿のとじしろを指定する（[原稿のとじしろ]）

表示するには：[応用設定] - [原稿] - [原稿設定] - [原稿のとじしろ]

両面の原稿を読み込むときに、とじしろの位置が逆にならないよう、原稿のとじしろ位置を選びます。

設定	説明
[自動]	原稿のとじしろが自動で設定されます。原稿の長辺が297 mm以下の場合、用紙の長辺にとじしろを設定します。原稿の長辺が297 mmを超える場合、用紙の短辺にとじしろを設定します。
[左開き／とじ]	原稿の左側にとじしろがあるときに選びます。
[上開き／とじ]	原稿の上側にとじしろがあるときに選びます。

#### 大量の原稿を数回に分けて読み込む（[連続読み込み]）

原稿の枚数が多く、1度のセットでADFに載せきれない場合でも、原稿を数回に分けて読み込んで、1つのジョブとして扱えます。

[連続読み込み]は、ADFと原稿ガラスとを交互に使い分けて、原稿を読み込むこともできます。

1 原稿をセットします。

##### 重要

原稿給紙トレイに1度にセットする原稿は50枚以内とし、なおかつ▼マークを超えてセットしないでください。原稿つまりや原稿の破損、ADFの故障の原因になります。

2 [応用設定] - [原稿] - [連続読み込み]をタップして、[ON]に設定します。

3 スタートを押します。

原稿が読み込まれます。

4 次の原稿をセットして、スタートを押します。

→ 必要に応じて[設定変更]をタップし、新しく読み込む原稿に合わせて、オプション設定を変更します。

5 すべての原稿を読み込むまで、手順4の操作を続けます。

6 すべての原稿を読み込み終えたら [読み込み終了]をタップします。

送信が開始されます。

### 3.5.3 画質／濃度の調整

#### 原稿の内容に適した画質を選ぶ（[原稿画質]）

表示するには：[応用設定] - [画質 / 濃度] - [原稿画質]

原稿の記載内容に適した設定を選び、最適な画質で読み込みます。

設定	説明
[文字]	文字が多い原稿を、最適な画質で読み込みます。 文字のエッジをシャープに再現して、読みやすい画像にします。
[文字 / 写真]	文字と写真とで構成された原稿を、最適な画質で読み込みます。 文字のエッジはシャープに再現して、写真は滑らかに再現します。
[写真]	写真だけで構成された原稿を、最適な画質で読み込みます。

#### 原稿を読み込む濃度を調整する（[濃度]）

表示するには：[応用設定] - [画質 / 濃度] - [濃度]

原稿に合わせて濃度を調整して読み込みます。

#### 読み込む原稿の下地の濃度を調整する（[下地調整]）

表示するには：[応用設定] - [画質 / 濃度] - [下地調整]

新聞紙や再生紙でできた原稿など、下地に色が付いている原稿の下地の濃度を調整します。

#### 原稿の端部（ふち）にある文字や影を消去する（[枠消し]）

表示するには：[応用設定] - [応用] - [枠消し]

原稿の周囲4辺と同じ幅で消去します。辺ごとに消去する幅を設定できます。

設定	説明
[ON] / [OFF]	枠消しを設定するときに [ON] を選びます。
[枠全体]	原稿の周囲4辺と同じ幅で消去するときに選びます。 [消去量] で、[+] / [-] またはテンキーをタップして、消去する幅を指定します。数字の入力エリアをタップするとテンキーを表示します。
[上] / [下] / [左] / [右]	原稿の辺ごとに異なる幅を指定して消去するときに選びます。 [枠全体] の設定を解除し、辺 ([上] [下] [左] [右]) を選び、[消去量] で、[+] / [-] またはテンキーをタップして、辺ごとに消去する幅を指定します。数字の入力エリアをタップするとテンキーを表示します。 消去しない場合は、[消去する] の設定を解除します。

#### 文字などの境界をくっきりさせる（[シャープネス]）

表示するには：[応用設定] - [応用] - [シャープネス]

画像のエッジ部分を強調して、読みやすくします。画像の、ガタガタした輪郭を滑らかにしたり、ぼやけた輪郭をくっきりさせたりします。

### 3.5.4 現在の設定内容を確認する

[設定確認] をタップすると、指定した宛先の一覧が表示されます。送信前に、指定した宛先や設定内容を再確認できます。

設定	説明
[同報宛先]	指定した宛先の一覧を表示します。 ・ [宛先詳細] をタップすると、選んだ宛先の詳細情報を確認できます。また、直接入力した宛先の場合は、宛先情報を編集できます。 ・ [クリア] をタップすると、選んだ宛先を削除できます。
[設定詳細]	送信設定の内容を表示します。

---

# 4

こんな送信のしかたがあります

---

## 4 こんな送信のしかたがあります

### 4.1 ファクスを再送信する

#### 自動で再送信する（オートリダイアル）

回線や送信先の装置の問題で正常に送信できなかったときは、一定時間経過後に自動的に再送信（リダイアル）します。



##### 関連設定（管理者向け）

- オートリダイアルの回数を変更できます。  
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [オートリダイアル回数]
- オートリダイアルの間隔を変更できます。  
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [オートリダイアル間隔]

## 4.2 発信元情報を付加せずに送信する

### 発信元情報について

発信元情報とは、本機の名前や会社名（発信元名）とファックス番号などのことで、送信するファックスに自動で付加されます。

通常は発信元情報を付加して送信しますが、一時的に発信元情報を付加せずに送信することもできます。

#### 重要

発信元情報を原稿内に印字する場合、発信元情報がファックスの画像の一部にかかり、画像が欠けることがあります。



#### 関連設定（管理者向け）

発信元情報を印字する位置を指定できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [発信元 / 受信情報] - [発信元情報]（初期値：[原稿外]）

### 操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファックス] をタップします。
- 3 宛先を指定します。
- 4 [応用設定] - [応用] - [ファックス発信元設定] をタップして、[OFF] に設定します。



- 5 スタートを押します。

送信が開始されます。

## 4.3 時刻を指定して通信する ([タイマー通信])

### タイマー通信について

タイマー通信は、通信を開始する時刻を設定しておくと、指定した時刻に自動的に通信を開始する機能です。

タイマー通信機能で、早朝や深夜などの電話料金割引時間帯を利用してファクス送信を予約しておくと、通信コストの削減に役立ちます。タイマー通信機能によるファクス送信は16件まで予約できます。



#### 参考

タイマー通信機能を有効にすると、ポーリング送信機能、ポーリング受信機能は併用できません。

### 操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファクス] をタップします。
- 3 宛先を指定します。  
→ 複数の宛先をまとめて指定することもできます。
- 4 [応用設定] - [ファクス設定] - [タイマー通信] をタップし、[ON] をタップします。
- 5 通信を開始する時刻をテンキーで入力し、[OK] をタップします。  
→ 数字の入力エリアをタップするとテンキーを表示します。



- 6 スタートを押します。

原稿の読み込みが開始されます。指定した時間になると、自動的にファクス送信が開始されます。



#### 参考

通信開始時刻に本機の電源がOFFの場合、ファクス送信は開始されません。電源をONにした直後にファクス送信が開始されます。

## 4.4 送信先のファクス番号を確認して送信する（[宛先確認送信]）

### 宛先確認送信について

宛先確認送信は、ファクス送信に指定したファクス番号と、送信先のファクス番号情報（CSI）とを照合し、一致した場合にファクスを送信する機能です。

指定したファクス番号と送信先のファクス番号情報（CSI）が一致しない場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。

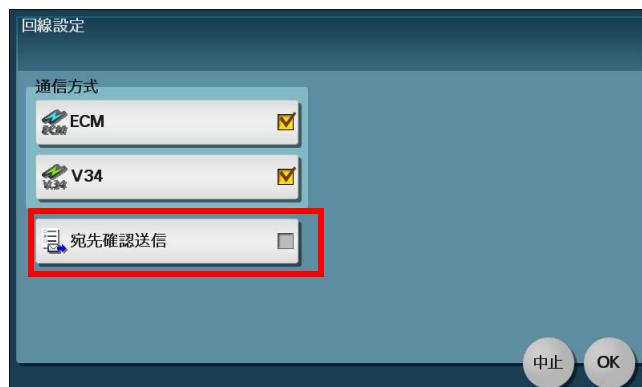


#### 参考

- 送信先の装置に自局のファクス番号が登録されている必要があります。
- 送信先を短縮宛先に登録するとき、ファクス番号の登録に加え、常に宛先確認送信するように設定できます。

### 操作の流れ

- 原稿をセットします。
- [ファクス] をタップします。
- 宛先を指定します。
- [応用設定] - [ファクス設定] - [回線設定] をタップします。
- [宛先確認送信] をタップしてチェックをつけ、[OK] をタップします。



- スタートを押します。

送信が開始されます。

## 4.5 親展のファクスを送信する ([F コード送信])

### 親展通信について

親展通信は、登録番号やパスワードが必要な親展受信ボックスを使って、特定の相手とだけ通信する機能です。

セキュリティを強化したファクス通信ができます。



#### 参考

- 送信先の装置に F コード機能が備わっている必要があります。
- あらかじめ送信先の親展受信ボックスの登録番号と、親展受信用の通信パスワードの確認が必要です。
- 親展通信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
パスワード送信、ポーリング送信、ポーリング受信



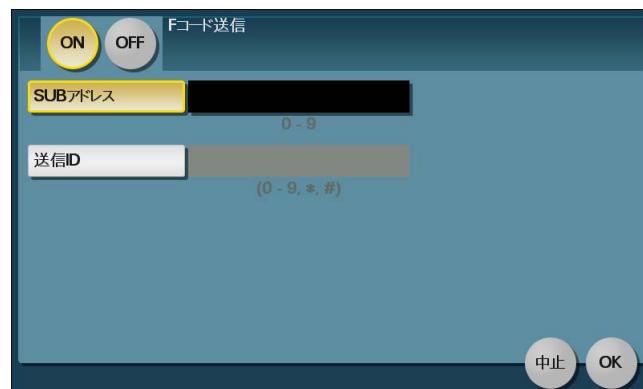
#### 関連設定 (管理者向け)

F コード送信機能を使用するかしないか設定できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定] - [F コード送信]（初期値：[ON]）

### 操作の流れ

- 原稿をセットします。
- [ファクス] をタップします。
- 宛先を指定します。
- [応用設定] - [ファクス設定] - [F コード送信] をタップし、[ON] をタップします。
- [SUB アドレス] と [送信 ID] を入力し、[OK] をタップします。
  - [SUB アドレス]：親展受信ボックスの登録番号を入力します。
  - [送信 ID]：親展受信用の通信パスワードを入力します。



- スタートを押します。  
送信が開始されます。

## 4.6 中継機を指定して送信する ([F コード送信])

### 中継配信について

中継配信は、1通のファクスを中継機に送信すると、受信した中継機が、あらかじめ登録してあるグループ宛先に受信したファクスを配信する機能です。

中継機と配信先を地域別にグループ化して準備しておけば、すべての宛先に同報送信するよりも全体の通信費を抑えられます。遠距離へ同報送信したい場合などに有効です。



#### 参考

- 送信先の装置（中継機）に F コード機能が備わっている必要があります。
- 本機は、ファクスを中継機に送信する機能（中継配信依頼）に対応しています。本機を中継機として使用する機能（中継配信）には対応していません。
- あらかじめ中継機に設定された中継用ボックスの登録番号と、中継配信用のパスワードの確認が必要です。
- 中継配信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
パスワード送信、ポーリング送信、ポーリング受信



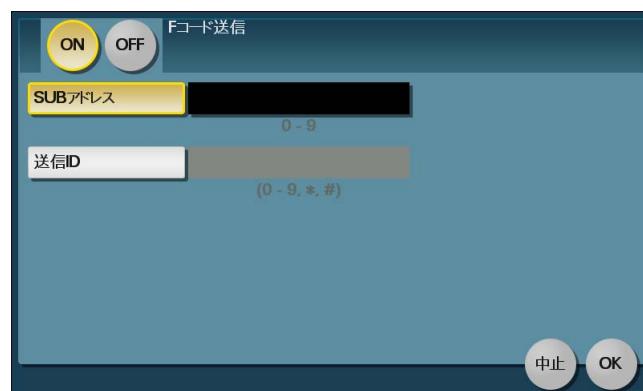
#### 関連設定（管理者向け）

F コード送信機能を使用するかしないか設定できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定] - [F コード送信]（初期値：[ON]）

### 操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファクス] をタップします。
- 3 中継機のファクス番号を指定します。
- 4 [応用設定] - [ファクス設定] - [F コード送信] をタップし、[ON] をタップします。
- 5 [SUB アドレス] と [送信 ID] を入力し、[OK] をタップします。
  - [SUB アドレス]：中継用ボックスの登録番号を入力します。
  - [送信 ID]：中継配信用のパスワードを入力します。



- 6 スタートを押します。

中継機への送信が開始されます。中継機で受信されたファクスは、中継機で登録されている配信先へ配信されます。

## 4.7 ECM モードを解除して送信する ([ECM])

### ECMについて

ECM (Error Correction Mode) は、ITU-T (国際電気通信連合) で定められた誤り再送方式です。

ECMに対応したファクス機の間では、送ったファクスのデータに誤りがないことを確認しながら通信が行われるため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。

本機は、初期設定では ECM を使った通信を行います。雑音が多い場合は ECM を使わない場合と比べて、通信時間が若干長くなることがあります。通信時間を短縮したい場合は、ECM を解除して送信することもできます。ただし、画像の乱れや通信エラーの原因となる場合がありますので、状況に応じて設定を変更してください。

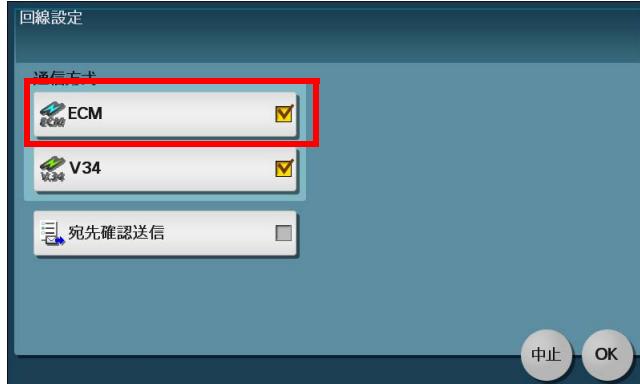


#### 参考

- 送信先を短縮宛先に登録するとき、ファクス番号の登録に加え、ECM で送信するかどうかを設定できます。
- ECM 機能を解除すると、以下の機能は併用できません。  
V34 OFF、ポーリング送信、ポーリング受信

### 操作の流れ

- 原稿をセットします。
- [ファクス] をタップします。
- 宛先を指定します。
- [応用設定] - [ファクス設定] - [回線設定] をタップします。
- [ECM] をタップしてチェックをはずし、[OK] をタップします。



- スタートを押します。

送信が開始されます。

## 4.8 スーパー G3 モードを解除して送信する ([V34])

### V34について

V34は、スーパーG3のファクス通信に使われる通信方式です。

A4原稿1ページが約3秒の高速で送られるため、通信時間を短縮して、通信コストを削減できます。

本機は、初期設定ではV34を使った通信を行います。送信先または本機がPBX回線に接続されている場合など、回線の状況によってスーパーG3モードで通信できない場合は、V34を解除して送信することもできます。

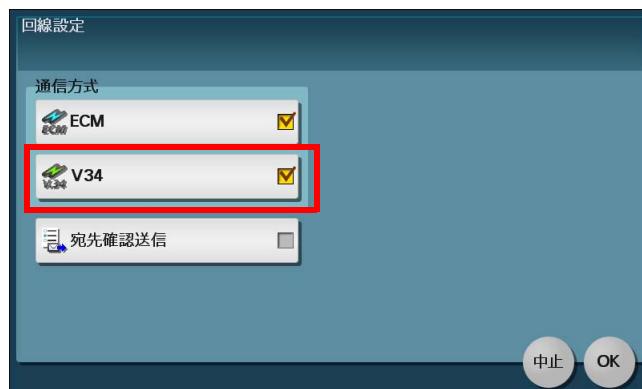


#### 参考

- 送信先を短縮宛先に登録するとき、ファクス番号の登録に加え、V34で通信するかどうかを設定できます。
- V34機能を解除すると、以下の機能は併用できません。  
ECM OFF、ポーリング送信、ポーリング受信

### 操作の流れ

- 原稿をセットします。
- [ファクス]をタップします。
- 宛先を指定します。
- [応用設定] - [ファクス設定] - [回線設定]をタップします。
- [V34]をタップしてチェックをはずし、[OK]をタップします。



- スタートを押します。

送信が開始されます。

## 4.9 1ページずつ送信する ([クイックメモリー送信])

### クイックメモリー送信について

クイックメモリー送信は、原稿を1ページ読取ると同時にファックス送信を開始する方法です。発信元記録に総ページ数を入れることもできます。

本機は、通常、原稿をすべて読み込んでメモリーに蓄積してから送信を開始しますが（メモリー送信）、クイックメモリー送信を使うことで、全体の処理時間を短縮できます。また、原稿の枚数が多い場合にも、メモリーオーバーすることなく送信できます。



#### 参考

クイックメモリー送信機能を有効にすると、タイマー通信機能は併用できません。

### 操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファックス] をタップします。
- 3 宛先を指定します。
- 4 [応用設定] - [ファックス設定] - [クイックメモリー送信] をタップし、[ON] をタップします。
- 5 発信元記録に総ページ数を入れる場合は、[原稿枚数指定] を選んでから、テンキーで枚数を入力し、[OK] をタップします。



- 6 スタートを押します。

原稿を1ページ読取ると同時に、送信が開始されます。

## 4.10 パスワードをつけて送信する（[パスワード送信]）

### パスワード送信について

パスワード送信は、パスワードをつけてファクスを送信する機能です。パスワードでファクスの通信相手を制限している（閉域受信機能を設定している）装置に送る場合に使います。



#### 参考

- 送信先が閉域受信（パスワード）機能をもつ、弊社の機種のときにだけお使いいただけます。
- あらかじめ送信先の閉域受信パスワードの確認が必要です。
- パスワード送信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
Fコード送信、ポーリング送信、ポーリング受信



#### 参照

本機は、閉域受信機能を使ってファクスの通信先を制限できます。閉域受信機能について詳しくは、6-11ページをごらんください。

### 操作の流れ

- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファクス] をタップします。
- 3 宛先を指定します。
- 4 [応用設定] - [ファクス設定] - [パスワード送信] をタップし、[ON] をタップします。
- 5 送信先の閉域受信パスワードをテンキーで入力し、[OK] をタップします。  
→ 数字の入力エリアをタップするとテンキーを表示します。



- 6 スタートを押します。

送信が開始されます。

## 4.11 ポーリング用のファイルを登録する（[ポーリング送信]）

### ポーリング送信について

ポーリング送信は、受信側からの受信指示（ポーリング指示）で送信するファイルを、あらかじめ内蔵ハードディスクに蓄積（登録）しておく機能です。

ポーリング用のファイルは、ポーリング送信ボックスに登録され、ポーリング指示を受けると送信されます。

ポーリング送信ボックスには、1ファイルだけ登録できます。

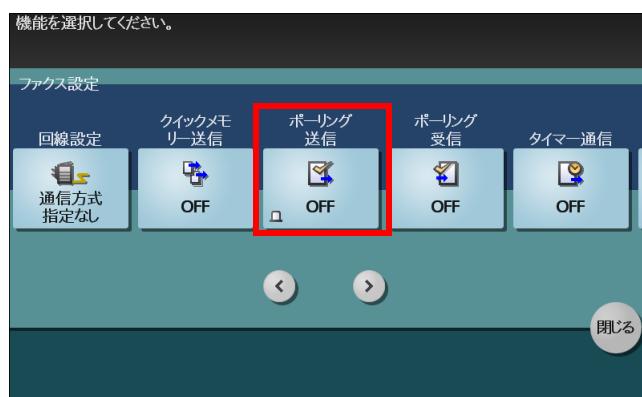


ポーリング送信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
タイマー通信、Fコード送信、ECM OFF、V34 OFF、クイックメモリー送信、パスワード送信、ポーリング受信

### ポーリング用のファイルを登録する

ポーリング送信を実行し、ポーリング送信ボックスにファイルを登録します。

- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファクス] をタップします。
- 3 [応用設定] - [ファクス設定] - [ポーリング送信] をタップし、[ON] に設定します。



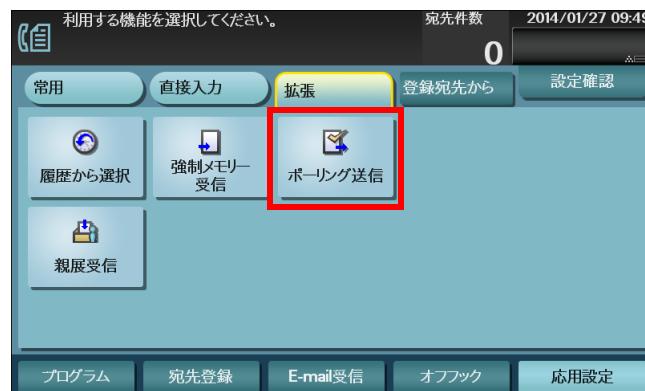
- 4 スタートを押します。
- ポーリング送信ボックスにファイルが登録されます。

## ボックス内のファイルを印刷または削除する

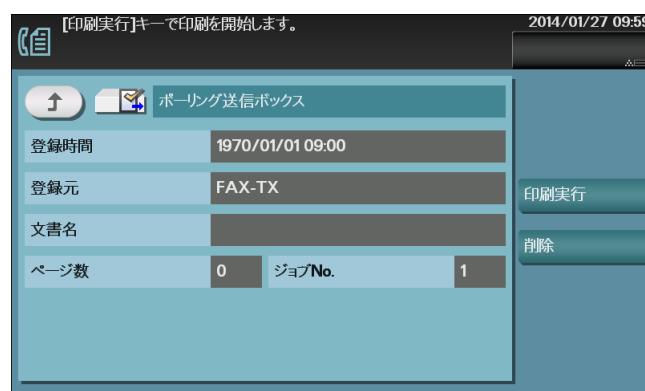
ポーリング送信ボックスにアクセスし、登録されているファイルの印刷、削除ができます。

- ✓ ここでは、ファクスモードでの操作手順を説明します。トップメニューの [文書印刷 / 削除] - [ポーリング送信] から、同じ操作ができます。

- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 [拡張] - [ポーリング送信] をタップします。



- 3 登録されているファイルの情報を確認し、[印刷実行] または [削除] をタップします。



---

# 5

## 受信のしかた

## 5 受信のしかた

### 5.1 自動で受信する（ファクス専用で使う）

#### 自動受信について

自動受信は、一定回数の呼出音が鳴ると、ファクスを自動的に受信する方法です。  
回線をファクス専用でお使いになる場合は、自動受信に設定しておくと便利です。

#### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

自動受信するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式] を [自動受信] に設定する（初期値：[自動受信]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [着信回数設定] で、自動受信を開始するまでの呼出音の回数を設定する

## 5.2 自動で受信する（電話機を接続して使う）

### 自動受信（TEL/FAX 自動切換え）について

本機に電話機を接続し、回線をファクスと電話両方でお使いになる場合は、TEL/FAX 自動切換え機能を使うと便利です。

TEL/FAX 自動切換え機能は、着信がファクスなのか電話なのかを自動的に検知する機能です。着信がファクスのときは、自動的にファクスの受信を開始します。着信が電話のときは、電話機の呼出音が鳴り、受話器を上げると通話できます。



#### 参考

- 着信があると、音声メッセージ 1、呼出音、音声メッセージ 2 の順に音声が流れ、その間に検知が行われます。音声メッセージは、次のとおりです。  
音声メッセージ 1：「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」  
音声メッセージ 2：「ただいま近くにおりません。ファクスに切換えます。」
- 音声メッセージ 2 が流れたあとは、ファクスの受信状態に切換わります。
- 呼出音が鳴っているときに受話器を上げ、「ピー」という音が聞こえたり、音が聞こえなかつたりした場合は、ファクスの着信です。受話器を上げたままスタートを押すとファクスを受信できます。

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

自動受信（TEL/FAX 自動切換え）するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式] を [自動受信] に設定する（初期値：[自動受信]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [TEL/FAX 自動切換え] を [ON] に設定する（初期値：[OFF]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [留守番電話接続設定] を [OFF] に設定する（初期値：[OFF]）



#### 関連設定（管理者向け）

- 外出時などに電話機の留守番電話機能をお使いになる場合、本機の「外部TEL呼出時間」の設定を、電話機の留守番電話が応答するまでの時間より長くなるように設定する必要があります。[外部TEL呼出時間] で設定した時間が短いと、留守番電話が応答する前に本機がファクス受信を開始します。設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [外部TEL呼出時間]（初期値：[20] 秒）
- TEL/FAX 自動切換え時に音声メッセージを流すかどうかを設定できます。  
設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [TEL/FAX 切換え時の音声応答]（初期値：[OFF]）

### 電話をかける／受ける

電話をかける場合は、電話機の受話器を上げ、ダイアルします。通話が終了したら受話器を戻します。

電話を受ける場合は、電話の呼出音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。通話が終了したら受話器を戻します。



#### 参考

呼出音が鳴っているときに受話器を上げ、「ピー」という音が聞こえたり、音が聞こえなかつたりした場合は、ファクスの着信です。受話器を上げたままスタートを押すとファクスを受信できます。

## 5.3 自動で受信する（留守番電話を使う）

### 留守番電話の使用について

本機に留守番電話機能付き電話機を接続し、回線をファクスと電話両方でお使いになる場合、留守番電話接続設定機能を利用できます。留守番電話機能を常にお使いになる場合は、留守番電話接続設定機能を使うと便利です。

留守番電話接続設定機能は、着信がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して、着信がファクスのときは自動的にファクスの受信を開始し、着信が電話のときは留守番電話のメッセージを再生する機能です。



#### 参考

- 着信があると、留守番電話のメッセージが流れ、その間に検知が行われます。
- 電話機でメッセージ録音が開始されると、本機はファクスの受信状態に切換わります。
- 電話機の留守番電話機能が設定されていないなど留守番電話が応答しない場合は、約 20 秒後にファクスの受信が開始されます。

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

留守番電話機能を使うには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式] を [自動受信] に設定する（初期値：[自動受信]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [TEL/FAX 自動切換え] を [OFF] に設定する（初期値：[OFF]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [留守番電話接続設定] を [ON] に設定する（初期値：[OFF]）

## 5.4 手動で受信する

### 手動受信について

手動受信は、着信したファクスをオフフックキーを使って手動で受信する方法です。本機に電話機を接続し、回線をファクスと電話両方でお使いになる場合、電話を使う機会が多く、かつファクスも常に手動で受信したいときに便利です。

電話機を接続している場合は、着信があると着信が電話でもファクスでも電話機の呼出音が鳴ります。呼出音が鳴ったら受話器を上げ、着信を確認したあとでファクスを確実に受信できます。

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

手動受信するには、次の設定が必要です。

- ・ [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [回線パラメーター設定] - [受信方式] を [手動受信] に設定する（初期値：[自動受信]）

### 操作の流れ

- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 [オフフック] をタップします。  
→ 電話機をお使いの場合は、受話器を上げます。



- 3 [受信] が選ばれていることを確認します。



- 4 [開始] をタップします。

受信が開始されます。電話機をお使いの場合は、受話器を戻します。

---

# 6

こんな受信のしかたがあります

---

## 6 こんな受信のしかたがあります

### 6.1 受信した日時を追加して印刷する ([受信情報])

#### 受信情報について

受信情報とは、ファクスを受信した日時、受信した順に付与する番号（受信番号）、ページ番号を示しています。

受信情報は、必要に応じて印刷時に印字します。

#### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

受信情報を印字するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [発信元 / 受信情報] - [受信情報] で、受信情報を印字する位置を選ぶ（初期値：[OFF]）

## 6.2 印刷できないファクスを保存／転送する（メモリー代行受信）

### メモリー代行受信について

用紙つまりや消耗品ぎれなどで、受信したファクスを印刷できないときは、本機が印刷できる状態になるまでファクスをメモリーに保存します。

すぐにトラブル処置に対応できない場合に、保存されたファクスを他の宛先（ファクス宛先、E-mail宛先）へ転送することもできます。

メモリー代行受信は、自動的にはたらきます。



- メモリーがいっぱいのときは、メモリー代行受信ができません。
- 用紙つまりなどのトラブル処理が終了すると、保存していたファクスの印刷を開始します。

### メモリー代行受信したファクスを転送する

メモリーに保存されたファクスは、他の宛先（ファクス宛先、E-mail宛先）へ転送できます。

- [ジョブ表示] をタップします。



- [受信] をタップして、実行中の受信ジョブを表示します。
- メモリー代行受信したジョブを選び、[転送] をタップします。
- 転送先を指定し、[OK] をタップします。  
→ ファクス番号を直接入力するか、[登録宛先から] をタップしてファクス宛先または E-mail 宛先を指定します。
- スタートを押します。  
転送が開始されます。

## 6.3 受信したファクスを自動で振分ける (TSI 受信振分け)

### TSI 受信振分けについて

TSI (Transmitting Subscriber Identification) 受信振分けは、送信元のファクス番号 (TSI) をもとに、受信したファクスを、あらかじめ設定しておいた宛先 (SMB/FTP/E-mail (インターネットファクス) 宛先) へ自動転送する機能です。印刷したファクスを受信者ごとに仕分ける手間がなく、紛失する心配もありません。TSI 受信振分け機能は、あらかじめ転送先の設定が必要です。128 件までのファクス番号 (TSI) に対して振分け先を登録できます。



#### 参考

- 転送時のファイル形式は TIFF となります。
- ファクス番号 (TSI) が未登録で、振分け先がないファクスを受信したときは、強制メモリー受信機能がはたらき、本機のメモリーに保存されます。受信したファクスの印刷方法について詳しくは、6-6 ページをごらんください。
- TSI 受信振分け機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
強制メモリー受信、転送ファクス、PC-FAX 受信、夜間受信

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

TSI 受信振分け機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [TSI 受信振分け設定] - [使用設定] で、TSI 受信振分け機能を有効にする (初期値 : [OFF])
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [TSI 受信振分け設定] - [TSI 受信振分け先登録] で、振分けたい送信元のファクス番号 (TSI) と振分け先を登録する
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [TSI 受信振分け設定] - [受信後印刷] で、ファクス受信後に本機で印刷するかどうかを設定する (初期値 : [いいえ])
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [TSI 受信振分け設定] - [該当ボックスなし設定] で、振分け先がないファクスを受信したときの動作を設定する (初期値 : [受信印刷])

## 6.4 受信したファクスを他の宛先へ転送する（転送ファクス）

### 転送ファクスについて

転送ファクスは、受信したファクスを、あらかじめ設定しておいた宛先（ファクス宛先、E-mail 宛先、インターネットファクス宛先）へ転送する機能です。

受信したファクスをコンピューターで扱えるファイルに変換できるため、印刷コストの削減にもなります。



#### 参考

転送ファクス機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。

強制メモリー受信、PC-FAX 受信、TSI 受信振分け

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

転送ファクス機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [転送ファクス設定] - [使用設定] で、転送ファクス機能を有効にする（初期値：[OFF]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [転送ファクス設定] - [転送先] で、転送先を登録する
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [転送ファクス設定] - [出力機能] で、ファクスの転送時に本機で印刷するかどうかを設定する（初期値：[不達時のみ印刷]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [転送ファクス設定] - [ファイル形式] で、受信したファクスを転送するときのファイル形式を設定する（初期値：[PDF]）

## 6.5 受信したファクスを印刷せずにメモリーに保存する（強制メモリー受信）

### 強制メモリー受信について

強制メモリー受信は、受信したファクスを印刷せずに本機のメモリーに保存する機能です。

受信したファクスの内容を確認して、必要なものだけを印刷することで、印刷コストを削減できます。ファクスの盗難や紛失を防げるためセキュリティを強化でき、重要なファクスも安心して扱えます。



#### 参考

強制メモリー受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
転送ファクス、PC-FAX 受信、TSI 受信振分け、夜間受信

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

強制メモリー受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

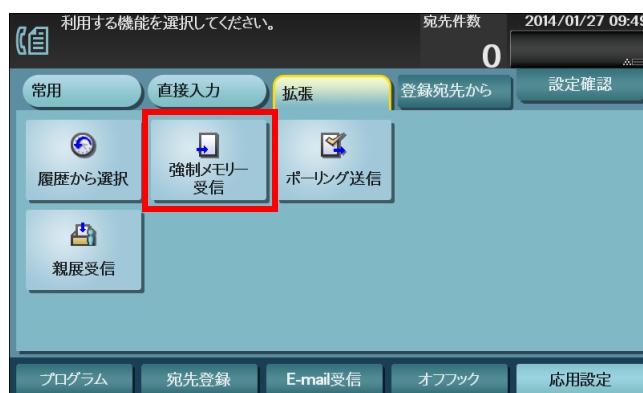
- ・ [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [強制メモリー受信設定] で、強制メモリー受信機能を有効にしてから、受信したファクスにアクセスするためのパスワードを設定する（初期値：[OFF]）

### 受信したファクスを印刷／削除する

受信したファクスは、強制メモリー受信ボックスにアクセスして印刷または削除ができます。

- ✓ ここでは、ファクスマードでの操作手順を説明します。トップメニューの [文書印刷 / 削除] - [強制メモリー受信] から、同じ操作ができます。

- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 [拡張] - [強制メモリー受信] をタップします。



- 3 受信したファクスにアクセスするためのパスワードを入力し、[OK] をタップします。  
→ パスワードが設定されていない場合は、手順 4 へ進みます。
- 4 印刷したいファクスを選び、[印刷実行] をタップします。  
→ [削除] をタップすると、選んだファクスを削除します。  
印刷が開始されます。



印刷されたファクスは、メモリーから消去されます。

## 受信したファクスをダウンロードする

Web Connection を使えば、受信したファクスをお使いのコンピューターにダウンロードできます。また、印刷や削除、詳細情報の確認もできます。

- 1 Web ブラウザーを使って Web Connection へアクセスします。  
→ Web ブラウザーの URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力してキー ボードの Enter を押します。  
`http://<本機の IP アドレス>/`
- 2 パブリックユーザーまたは登録ユーザーのアカウントでログインします。  
→ 管理者のアカウントでログインしても同じ操作ができます。
- 3 [ストレージ] タブの [PC-Fax] をクリックします。
- 4 受信したファクスにアクセスするためのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。  
→ パスワードが設定されていない場合は、手順 5 へ進みます。  
メモリーに保存されているファクスの一覧が表示されます。
- 5 ダウンロードしたいファクスの欄の [コピー] をクリックします。  
→ サムネイルまたはファイル名をクリックすると、選択したファイルの詳細情報が表示されます。  
→ [プリント] をクリックすると、選択したファイルを印刷できます。  
→ [削除] をクリックすると、選択したファイルを削除できます。  
ダウンロードが開始されます。



Web Connection の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

## 6.6 親展のファクスを受信する（親展受信）

### 親展通信について

親展通信は、登録番号やパスワードが必要な親展受信ボックスを使って、特定の相手とだけ通信する機能です。

セキュリティを強化したファクス通信ができます。



本機は、Fコード送信機能を使って送信先の親展受信ボックスを指定し、親展のファクスを送信することもできます。親展でのファクス送信のしかたについて詳しくは、4-6 ページをごらんください。

### お使いになるために必要な作業

親展受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

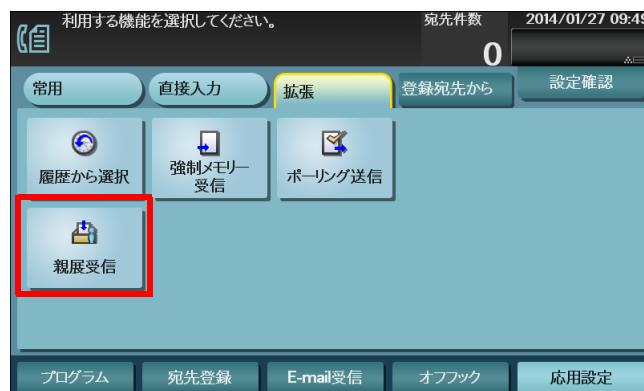
- [設定メニュー] - [宛先 / ボックス登録] - [親展受信ボックス] で、本機に親展受信ボックスを登録する

### 受信したファクスを印刷する

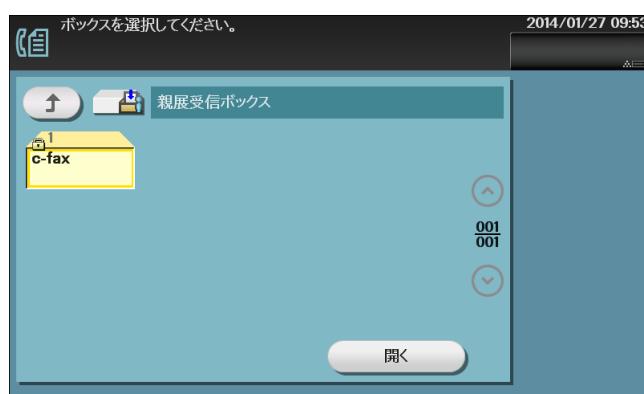
受信したファクスは、親展受信ボックスにアクセスして印刷または削除ができます。

- ✓ ここでは、ファクスマードでの操作手順を説明します。トップメニューの [文書印刷 / 削除] - [親展受信] から、同じ操作ができます。

- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 [拡張] - [親展受信] をタップします。



- 3 目的の親展受信ボックスを選び、[開く] をタップします。  
→ 親展受信ボックスに印刷パスワードが設定されている場合は、印刷パスワードを入力します。



- 4 印刷したいファクスを選び、[印刷実行] をタップします。  
→ [削除] をタップすると、選んだファクスを削除します。  
印刷が開始されます。

## 6.7 電話機から受信を指示する（リモート受信）

### リモート受信について

リモート受信は、電話機を接続して本機をお使いの場合に、電話機のダイアルでファックスの手動受信を操作する機能です。

ファックスの手動受信はタッチパネルでも操作できますが、電話機をお使いの場合は、受話器を上げてそのまま受信を指示できるので便利です。



#### 参考

- リモート受信機能は、ファックスの受信方式が手動受信の場合だけお使いいただけます。
- ダイアル（パルス）回線でリモート受信するには、電話機でトーンに切換える必要があります。この機能を持たない電話機ではリモート受信できません。詳しくは、電話機のマニュアルをごらんください。

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

リモート受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [機能設定] - [リモート受信設定] で、リモート受信機能を有効にしてから、受信指示用の番号（リモート受信番号）を登録する（初期値：[OFF]）

### 操作の流れ

- 電話機の呼出音が鳴ったら受話器を上げ、通信がファックスであることを確認します。
- 電話機から、2桁の受信指示用の番号（リモート受信番号）をダイアルします。  
受信が開始されます。受信が開始されたら受話器を戻します。

## 6.8 パスワードで通信相手を制限する（閉域受信）

### 閉域受信について

閉域受信は、パスワードでファクスの通信相手を制限する機能です。

ファクスを受信するとき、本機で設定しているパスワードと送信元から送られてきたパスワードとを照合し、パスワードが一致すると通信が行われます。通信相手を制限することで、不要な印刷を防ぎ、用紙の無駄な使用を抑えられます。



#### 参考

送信元がパスワード送信機能をもつ、弊社の機種のときにだけお使いいただけます。



#### 参照

本機からパスワード送信機能を使って、閉域受信が設定された送信先にパスワードをつけて送信することもできます。パスワード送信機能について詳しくは、4-11 ページをごらんください。

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

閉域受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [閉域受信設定] で、閉域受信機能を有効にしてから、通信を制限するためのパスワードを設定する（初期値：[OFF]）

## 6.9 ポーリング用のファイルを受信する（ポーリング受信）

### ポーリング受信について

ポーリング受信は、送信元でポーリング用に登録されているファイルを、本機から指示して受信する機能です。

ポーリング受信する場合、通信料金は受信側が負担します。



#### 参考

ポーリング受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。

タイマー通信、Fコード送信、ECM OFF、V34 OFF、クイックメモリー送信、パスワード送信、ポーリング送信



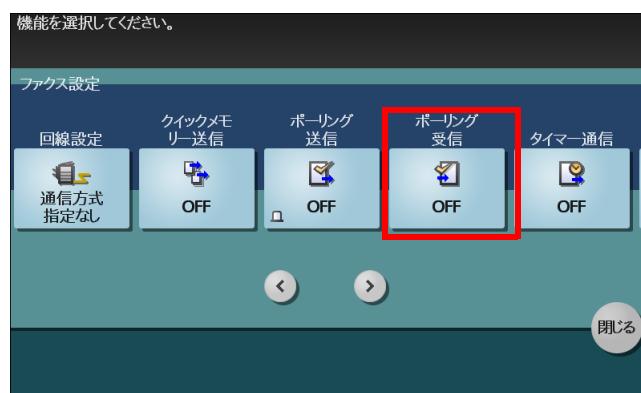
#### 参照

ポーリング送信機能を使って、本機のポーリング送信ボックスにファイルを登録することもできます。

ポーリング送信機能について詳しくは、4-12ページをごらんください。

### 操作の流れ

- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 宛先を指定します。
- 3 [応用設定] - [ファクス設定] - [ポーリング受信] をタップして、[ON] をタップします。



- 4 [通常] が選ばれていることを確認し、[OK] をタップします。
- 5 スタートを押します。  
受信が開始されます。

## 6.10 掲示板に登録されたファイルを受信する（ポーリング受信）

### ポーリング受信（掲示板）について

ポーリング受信（掲示板）は、送信元の掲示板ボックスに登録されているポーリング用のファイルを、本機から指示して受信する機能です。

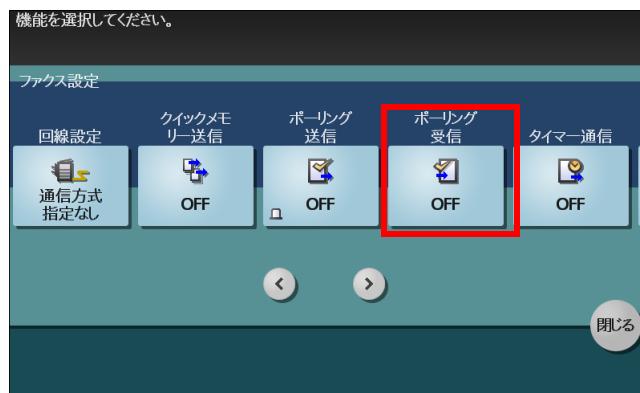
ポーリング受信する場合、通信料金は受信側が負担します。



ポーリング受信（掲示板）機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
タイマー通信、Fコード送信、ECM OFF、V34 OFF、クイックメモリー送信、パスワード送信、ポーリング送信

### 操作の流れ

- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 宛先を指定します。
- 3 [応用設定] - [ファクス設定] - [ポーリング受信] をタップして、[ON] をタップします。



- 4 [掲示板] を選び、相手機の掲示板ボックスのボックス番号を入力してから、[OK] をタップします。
- 5 スタートを押します。  
受信が開始されます。

## 6.11 受信したファックスをメモリーに保存する (PC-FAX 受信)

### PC-FAX 受信について

PC-FAX 受信は、受信したファックスをメモリーに保存する機能です。保存されたファックスは、印刷やダウンロードができます。



PC-FAX 受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
強制メモリー受信、転送ファックス、TSI 受信振分け、夜間受信

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

PC-FAX 受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

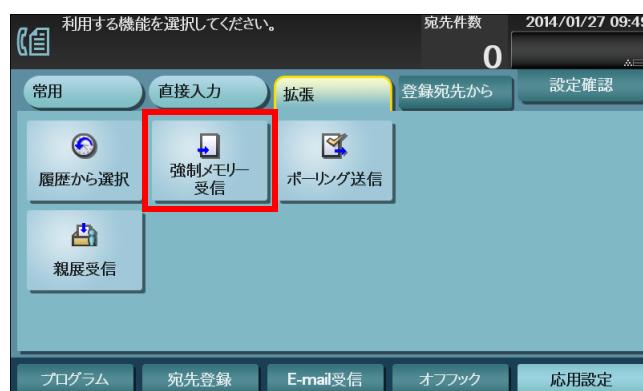
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [機能設定] - [PC-FAX 受信設定] - [使用設定] で、PC-FAX 受信機能を有効にする（初期値：[許可しない]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [機能設定] - [PC-FAX 受信設定] - [受信後印刷] で、ファックス受信後に本機で印刷するかどうかを設定する

### 受信したファックスを印刷する

受信したファックスは、強制メモリー受信ボックスにアクセスして印刷または削除ができます。

- ✓ ここでは、ファックスモードでの操作手順を説明します。トップメニューの [文書印刷 / 削除] - [強制メモリー受信] から、同じ操作ができます。

- 1 [ファックス] をタップします。
- 2 [拡張] - [強制メモリー受信] をタップします。



- 3 印刷したいファックスを選び、[印刷実行] をタップします。  
→ [削除] をタップすると、選んだファックスを削除します。  
印刷が開始されます。



印刷されたファックスは、メモリーから消去されます。

## 受信したファクスをダウンロードする

Web Connection を使えば、受信したファクスをお使いのコンピューターにダウンロードできます。また、印刷や削除、詳細情報の確認もできます。

- 1 Web ブラウザーを使って Web Connection へアクセスします。  
→ Web ブラウザーの URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力してキー ボードの Enter を押します。  
`http://<本機の IP アドレス>/`
- 2 パブリックユーザーまたは登録ユーザーのアカウントでログインします。  
→ 管理者のアカウントでログインしても同じ操作ができます。
- 3 [ストレージ] タブの [PC-Fax] をクリックします。  
メモリーに保存されているファクスの一覧が表示されます。
- 4 ダウンロードしたいファクスの欄の [コピー] をクリックします。  
→ サムネイルまたはファイル名をクリックすると、選択したファイルの詳細情報が表示されます。  
→ [プリント] をクリックすると、選択したファイルを印刷できます。  
→ [削除] をクリックすると、選択したファイルを削除できます。  
ダウンロードが開始されます。



Web Connection の使い方について詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 1 章「Web Connection を使う」をごらんください。

## 6.12 夜間のファックスの印刷を停止する（夜間受信）

### 夜間受信について

夜間受信は、あらかじめ設定した夜間時間帯に受信したファックスの印刷を禁止する機能です。夜間時間帯に受信したファックスは、設定した夜間時間帯の終了後にまとめて印刷されます。



#### 参考

夜間受信機能を有効にすると、以下の機能は併用できません。  
強制メモリー受信、TSI 受信振分け、PC-FAX 受信

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

夜間受信機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [機能設定] - [夜間受信設定] - [夜間受信使用設定] で、夜間受信機能を有効にする（初期値：[OFF]）
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [機能設定] - [夜間受信設定] - [夜間受信開始時刻] で、夜間時間帯の開始時刻を指定する
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファックス設定] - [機能設定] - [夜間受信設定] - [夜間受信終了時刻] で、夜間時間帯の終了時刻を指定する

## 6.13 ファクスを両面印刷する（[受信原稿両面印刷]）

### 受信原稿両面印刷について

複数ページのファクスを受信したとき、用紙の両面に印刷します。これにより用紙を節約できます。

### お使いになるために必要な作業（管理者向け）

両面印刷機能を使用するには、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [受信原稿両面印刷] で、両面印刷機能を有効にする（初期値：[OFF]）

## 6.14 ファクスの印刷設定をする（管理者向け）

### 印刷の初期設定について

受信したファクスは、ファクスのサイズによって、次の条件で印刷されます。

A4などの定形サイズで受信したファクスは、受信したファクスと同じ定形サイズの用紙に、少し縮小して印刷します（初期値：96%）。

定形サイズより縦長のファクスは、ファクスの幅と長さから、最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に印刷します。最適なサイズの用紙がセットされていない場合は、近いサイズの用紙に収まるように印刷します。



#### 参考

必要に応じて、受信したファクスを印刷するときの縮小率を変更できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [縮小率]（初期値：96%）

### 印刷する用紙サイズを固定する（[記録用紙サイズ]）

受信したファクスの用紙サイズの大小にかかわらず、常に指定したサイズの用紙に印刷できます。

受信したファクスより、印刷するサイズに指定した用紙のサイズが小さいときは、印刷する用紙サイズに合わせて縮小して印刷します。

印刷する用紙サイズを固定する場合は、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [記録用紙サイズ] で、印刷する用紙サイズを指定する（初期値：[A4]）

### 印刷する用紙トレイを固定する（[給紙トレイ固定]）

受信したファクスの用紙サイズの大小にかかわらず、常に指定したトレイにセットした用紙に印刷できます。

受信したファクスより、指定したトレイにセットした用紙のサイズが小さいときは、トレイにセットした用紙サイズに合わせて縮小して印刷します。

印刷する用紙トレイを固定する場合は、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [給紙トレイ固定] で、給紙トレイを指定する（初期値：[自動]）



#### 参考

- [給紙トレイ固定] でトレイを指定すると、[記録用紙サイズ] の設定は無視します（[記録用紙優先選択] が強制的に [自動選択] に切換わります）。
- [縮小率] を 100%（等倍）にすると、[給紙トレイ固定] は強制的に [自動] に切換わります。

### 不定形サイズ（縦長）のファクスを分割して印刷する（[ページ分割記録]）

定形サイズより縦長のファクスは、縮小して印刷せずに、定形サイズに収まらない分を、次ページとして印刷します。

ページ分割を行う場合は、次の設定が必要です。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [送信 / 受信設定] - [ページ分割記録] で、ページ分割記録を有効にする（初期値：[OFF]）



#### 参考

- [縮小率] を 100%（等倍）にすると、[ページ分割記録] は強制的に [OFF] に切換わり、収まらない部分を次ページ扱いせず、除外して印刷します。
- [受信原稿両面印刷] が [ON] の場合、[ページ分割記録] は使えません。

---

# 7

## ファクスレポートの印刷

## 7 ファクスレポートの印刷

ファクスに関するレポートには、次の種類があります。条件を満たすと自動で印刷されるレポートと、手動で印刷するレポートがあります。

レポート名	説明
通信管理レポート	ファクスを送信／受信した結果を記載したレポートです。 送受信合わせて 100 件分を、送信と受信それぞれ別ページに記録します。 通信管理レポートは、自動で印刷されるだけでなく、必要に応じて、送信だけの記録、受信だけの記録を印刷することもできます。 初期設定では、100 通信ごとに自動的に印刷します。
送信結果レポート	ファクスの送信結果を記載したレポートです。初期設定では、送信に失敗したときに自動的に印刷します。
ポーリング送信結果レポート	ポーリング送信した結果を記載したレポートです。初期設定では、ポーリング送信に失敗したときに自動的に印刷します。
ポーリング受信結果レポート	ポーリング受信した結果を記載したレポートです。初期設定では、ポーリング受信に失敗したときに自動的に印刷します。
同報送信結果レポート	同報送信した結果を記載したレポートです。初期設定では、同報送信が終了すると自動的に印刷します。
通信予約レポート	ファクス送信の予約記録を記載したレポートです。初期設定では、ファクス送信の予約をすると自動的に印刷します。
ポーリング送信予約レポート	ポーリング送信する予約記録を記載したレポートです。初期設定では、ポーリング送信の予約をすると自動的に印刷します。
同報送信予約レポート	同報送信する予約記録を記載したレポートです。初期設定では、同報送信を予約すると自動的に印刷します。
親展受信レポート	親展受信した結果を記載したレポートです。初期設定では、親展受信したときに自動的に印刷します。
設定値リスト	[ファクス設定] の設定内容を記載したリストです。



### 参考

通信管理レポートには、ファクスとインターネットファクスの両方の送受信結果が記載されます。



### 関連設定（管理者向け）

必要に応じて、各種ファクスレポートの印刷条件を変更できます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [レポート出力設定]

---

# 8

よく使う宛先を登録する（短縮  
宛先）

## 8 よく使う宛先を登録する（短縮宛先）

### 8.1 短縮宛先について

よく送信する宛先を本機に登録することで、送信のたびに宛先を入力する手間が省けます。本機に登録した宛先を、短縮宛先と呼びます。

短縮宛先は、2000 件まで登録できます。



#### 関連設定（管理者向け）

ユーザーに対して、宛先の登録や変更を許可するかどうかを選べます。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [ユーザー操作禁止設定] - [変更禁止設定] - [登録宛先変更]（初期値：[許可]）



短縮宛先は Web Connection でも登録できます。詳しくは、[ユーザーズガイド 応用機能編] の 2 章「本機の使用環境を設定する」をごらんください。

## 8.2 ファクス宛先を登録する

### 8.2.1 設定メニューから登録する

宛先とするファクス番号を登録します。

1 [設定メニュー] - [宛先 / ボックス登録] - [ファクス送信] - [新規登録] をタップします。

2 宛先情報を入力し、[OK] をタップします。

設定	説明
[No.]	宛先の登録番号です。空いている小さい数字から自動的に登録されます。
[名称]	宛先の名前を入力します（半角 72 文字／全角 10 文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は [常用] に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[検索文字]	宛先を名前でインデックス検索できるように、該当する文字を選びます。
[ファクス番号]	<p>宛先とするファクス番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構内回線 (PBX) 環境でお使いの場合は、[外線] をタップします ([E] と表示されます)。登録されている外線番号が自動的に挿入されます。</li> <li>構内回線 (PBX) 環境でお使いの場合は、外線番号のあとに [ボーズ] を入力すると ([P] と表示されます)、より確実なダイアルができます。</li> <li>ダイアル回線でプッシュ信号を発信したいときは、[トーン] をタップします ([T] と表示されます)。</li> <li>[-] は、ダイアルの区切り記号として入力します。ダイアルには影響ありません。</li> </ul>
[回線設定]	<p>必要に応じて、登録する宛先に対するファクスの送信のしかたを指定します。ここで指定した内容は、ファクスの送信前に変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>[ECM] : ECM モードは、ITU-T (国際電気通信連合) で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。</li> <li>雑音が多い電話回線で送信する場合は、通信時間が長くなることがあります。このような場合は、ECM を OFF に設定して送信することで、通信時間を短縮できます。ただし、画像の乱れや通信エラーの原因となる場合がありますので、状況に応じて設定を変更してください。</li> <li>[V34] : V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されている場合など、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。</li> <li>[宛先確認送信] : 宛先確認送信機能を使うときに ON にします。ファクス送信に指定したファクス番号と、送信先のファクス番号情報 (CSI) とを照合し、一致した場合にファクスを送信します。</li> </ul>



#### 参考

- 登録した宛先の設定内容を確認するときは、登録名を選び、[設定確認] をタップします。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選び、[編集] をタップします。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選び、[削除] をタップします。



#### 関連設定 (管理者向け)

ファクス番号を登録するとき、ファクス番号を 2 度入力させるかどうかを選べます。ファクス番号の誤登録を防ぐために便利な機能です。

設定するには：[設定メニュー] - [管理者設定] - [ファクス設定] - [機能設定] - [機能 ON/OFF 設定] - [宛先 2 度入力機能 (登録)] (初期値：[ON])

### 8.2.2 ファクスモードのトップ画面から登録する

- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 [宛先登録] をタップします。



- 3 [新規入力] をタップし、[ファクス] をタップします。
- 4 宛先情報を入力し、[登録] をタップします。  
→ 登録内容については、設定メニューから登録する場合と同じです。詳しくは、8-3 ページをごらんください。

## 8.3 直接入力した宛先を短縮宛先として登録する

- 1 [ファクス] をタップします。
- 2 [直接入力] をタップしてから宛先の種類を選び、宛先を入力します。
- 3 宛先を入力したら [宛先登録] をタップします。



- 4 短縮宛先に登録したい宛先をタップします。  
→ [新規入力] をタップすると、まだ入力していない新規の宛先を登録することができます。登録方法について詳しくは、8-4 ページをごらんください。
- 5 宛先の登録名を入力します。

設定	説明
[宛先種類]	手順 4 で選んだ宛先の種類を表示します。
[登録名]	宛先の名前を入力します（半角 72 文字／全角 10 文字以内）。
[常用]	よく送信する宛先の場合に設定します。設定した宛先は [常用] に表示されるため、宛先の指定が簡単になります。
[検索文字]	宛先を名前でインデックス検索できるように、該当する文字を選びます。
[宛先]	直接入力した宛先を表示します。

- 6 [登録] をタップし、[閉じる] をタップします。  
直接入力した宛先への送信が終わったら、[登録宛先から] をタップして、宛先が登録されていることを確認してください。

---

# 9

索引

---

## 9 索引

### E

ECM ..... 4-8

### F

F コード送信 ..... 4-6, 4-7

### P

PC-FAX 受信 ..... 6-14

### T

TEL/FAX 自動切換 ..... 5-3

TSI 受信振分け ..... 6-4

### V

V34 ..... 4-9

### あ行

宛先確認送信 ..... 4-5

宛先登録 ..... 8-2

  ファクス宛先 ..... 8-3

宛先の指定 ..... 3-9

  LDAP ..... 3-12

  常用 ..... 3-9

  直接入力 ..... 3-11

  登録宛先 ..... 3-10

  履歴 ..... 3-11

オートリダイアル ..... 4-2

### か行

解像度 ..... 3-13

片面 / 両面 ..... 3-13

強制メモリー受信 ..... 6-6

クイックメモリー送信 ..... 4-10

原稿画質 ..... 3-15

原稿サイズ ..... 3-13

原稿のとじしろ ..... 3-14

### さ行

下地調整 ..... 3-15

自動受信 ..... 5-2

シャープネス ..... 3-15

受信原稿両面印刷 ..... 6-17

受信情報 ..... 6-2

手動受信 ..... 5-5

手動送信 ..... 3-4

親展受信 ..... 6-8

親展通信 ..... 4-6

設定 ..... 3-13

### た行

タイマー通信 ..... 4-4

短縮宛先 ..... 8-2

中継配信 ..... 4-7

長尺原稿 ..... 3-14

転送ファクス ..... 6-5

### な行

濃度 ..... 3-15

### は行

パスワード送信 ..... 4-11

発信元情報 ..... 4-3

### ファクス機能

  概要 ..... 1-2

  準備 ..... 2-2

  送信のしかた ..... 3-2

  プログラム ..... 3-6

  登録 ..... 3-6

  呼出し ..... 3-8

  閉域受信 ..... 6-11

  ポーリング受信 ..... 6-12

  ポーリング受信（掲示板） ..... 6-13

  ポーリング送信 ..... 4-12

### ま行

  メモリー代行受信 ..... 6-3

### や行

  夜間受信 ..... 6-16

  読み込みサイズ ..... 3-13

### ら行

  リモート受信 ..... 6-10

  留守番電話 ..... 5-4

  レポート ..... 7-2

  連続読み込み ..... 3-14

### わ行

  枠消し ..... 3-15



KONICA MINOLTA

国内総販売元  
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元  
コニカミノルタ株式会社